

荷主事業者の物流情報の把握状況等 に関する実態調査結果

令和5年4月27日

経済産業省・国土交通省・農林水産省

調査概要

- 荷主事業者に関する施策検討に当たり、荷主の物流情報の把握実態等の調査を実施。

調査対象

発荷主、着荷主またはその両方に該当する事業者

設問事項

輸送重量、距離、荷待ち時間、荷役時間等の物流情報の把握状況等に関するもの

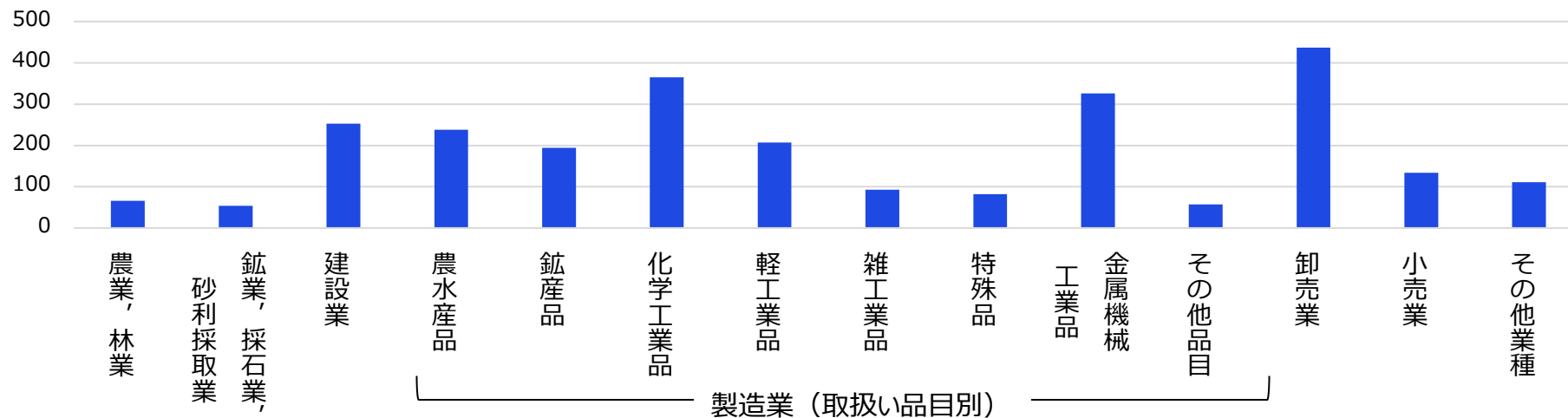
回答期間

2023年1月30日（月）～2023年3月3日（金）

有効回答数

2,617回答

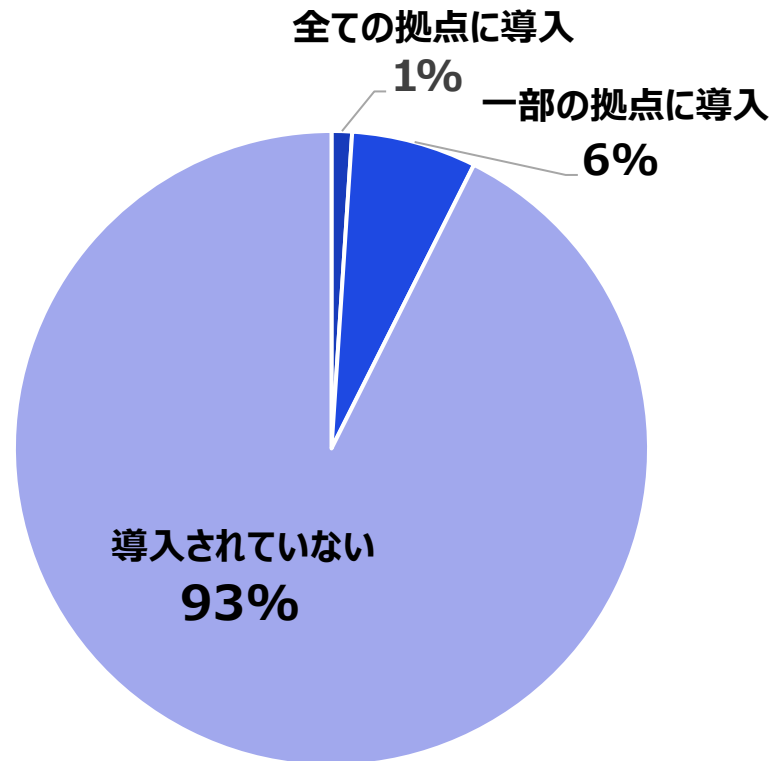
業種別回答数



荷主事業者におけるバス予約システムの導入実績

- バス予約システムを導入している荷主事業者は約7%。
- このうち、「全ての拠点に導入」しているの荷主事業者は約1%。

バス予約システムの導入実績 (n=2,497)



荷主事業者における荷待ち時間・荷役時間の把握状況

- 荷待ち時間・荷役時間については、発着荷主ともに、10～20%の荷主事業者が把握している。

荷待ち時間・荷役時間の把握状況

0% 20% 40% 60% 80% 100%

発荷主側の物流

荷待ち時間

16.7%

回答数

2,336

荷役時間

16.0%

2,334

着荷主側の物流

荷待ち時間

12.7%

2,408

荷役時間

11.5%

2,407

■ 把握している ■ 一部把握している ■ 把握していない

各指標を現在把握できている理由（抜粋）

- 荷待ち時間
 - ・ 入荷予約システムを一部センターで導入しており、受付から接車の時間を待機時間として把握できる。
 - ・ 待機があった場合、運送会社より請求がある。
- 荷役時間
 - ・ 契約上荷役については自社で行うため、ドライバーには委託していない。
 - ・ 必要に応じて、各社より提供してもらっている。

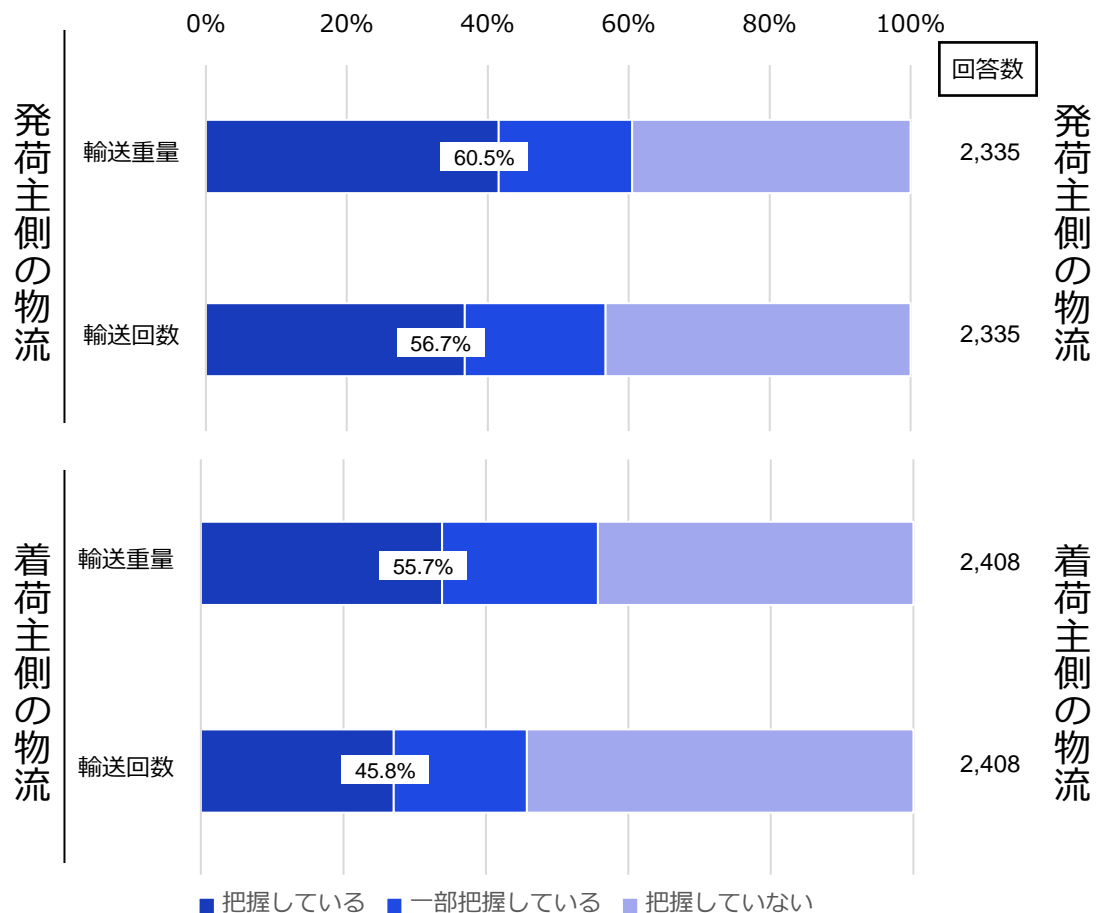
将来的な把握が困難な理由（抜粋）

- ・ 入荷拠点への入退場時刻の記録をお願いしているが、荷待ち時間と荷役時間の区分けは困難である。
- ・ 就業時間外(始業時刻以前の車両到着等)に関しては把握できない。

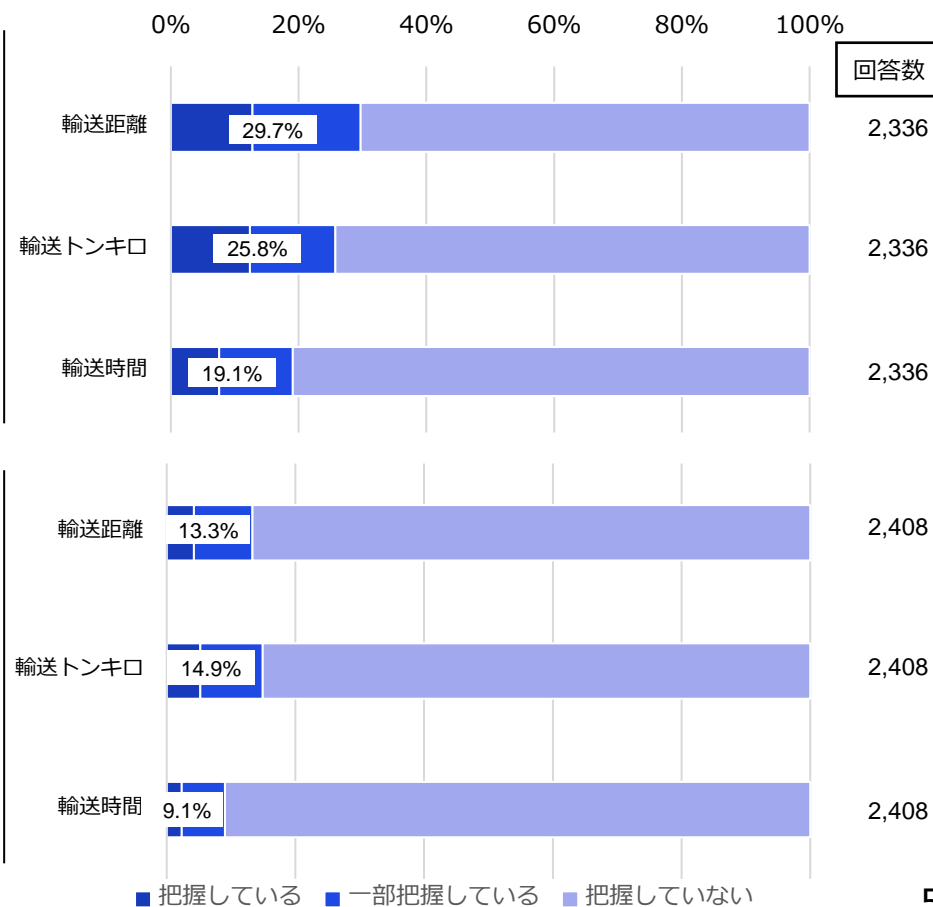
荷主事業者における物流関連の各指標の把握状況

- 輸送重量・輸送回数は、発着荷主ともに半数前後の事業者が把握している。
- 輸送距離・輸送トンキロ・輸送時間を把握している事業者は、発荷主は20%前後、着荷主は10%前後に留まっている。

輸送重量・輸送回数の把握状況



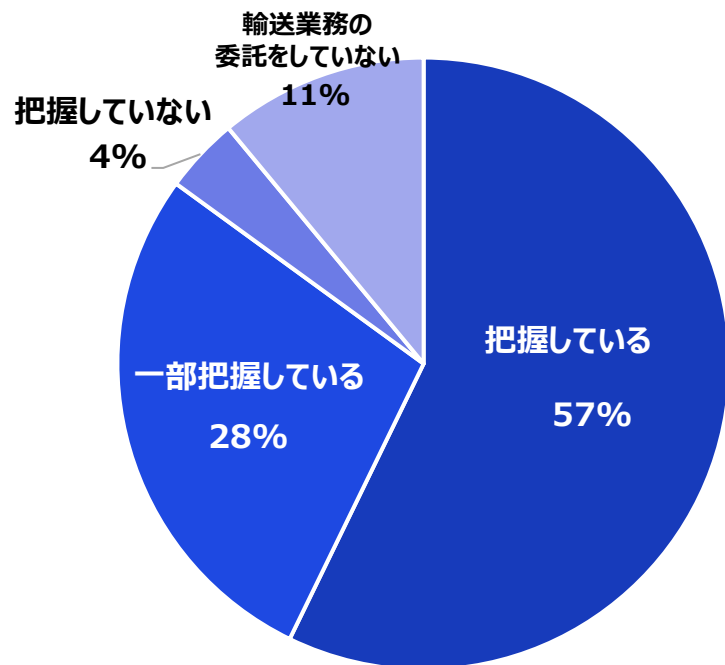
輸送距離・輸送トンキロ・輸送時間の把握状況



「実運送事業者」及び「取引先と輸送事業者の契約内容」の把握状況

- 自社の輸送業務の委託において、実際に輸送を行っている事業者（実運送事業者）を把握している荷主事業者は約85%。
- 自社が輸送委託をしていない輸送事業者の入出荷に関し、取引先と輸送事業者との間の契約で定められた内容（荷積み・荷卸し・附帯作業等）を把握している荷主事業者は約55%。

自社の委託による実運送事業者の
把握実績（n=2,615）



取引先と輸送事業者（自社の輸送委託ではない）
の契約内容の把握実績（n=2,615）

